

乙訓手をつなぐ親の会 会報 No.137

2023.11 発行

秋の気配が色濃く感じられる頃、いかがお過ごしでしょうか。

朝夕は冷え込み、体調を崩される方もおられるそうです。睡眠、休養、栄養、そして無理のない程度の運動をして、これからも元気に過ごしたいですね。

今年度は11月に手作りリース教室を開催します。ぜひご参加下さい。

長岡京市共生型福祉施設事業「診療所」設置に伴う 『医療についてのアンケート』のご協力ありがとうございました！！

8月に Google フォームの電子アンケートと書面のアンケートを配布しました。

アンケートは、乙訓の障害者福祉を進める連絡会、ぼちぼちサークル、乙訓の里親の会、向日が丘支援学校の在校生卒業生の保護者、知人、友人とたくさんの方のご協力があって、97件のご回答をいただきました。

本当に有難うございました。身近な医療「診療所」に対する、皆さんの関心と期待の高さを感じます。

10月5日に長岡京市福祉政策室との行政懇談を行い、アンケート結果全件と資料を提出いたしました。

アンケート結果

アンケートは、福祉政策室を通じて、障がい福祉課、保健所、京都府の障害者支援課に配布いただきました。

〈提出件数97件〉

- 本人障がい者との続柄 保護者(89.7%)本人(10.3%)
- 本人障がいの年齢 30才～64才(42.3%)19才～29才(39.2%)就学後～18才(11.3%) 他
- 本人の障がいの種類(重複回答可) 知的障がい(73.2%)身体障がい(肢体)(36.1%)
精神障がい(発達障がい含む)(24.7%) 他

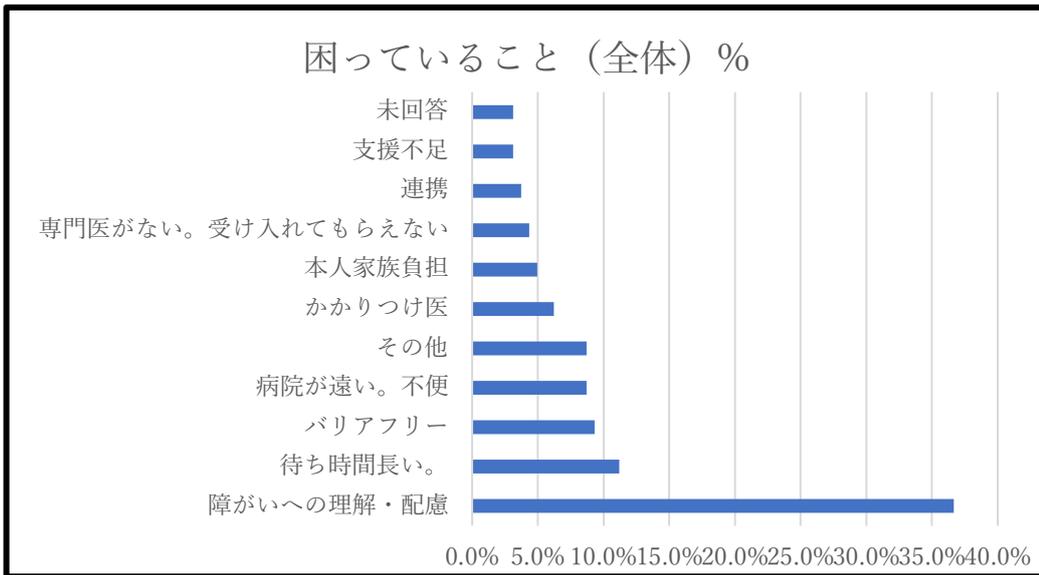
(1) 医療を受診されて困ったこと困っていることはありますか

90.7%

(2) どういうことに困られましたか

- 障がいへの理解・配慮(36.6%)・・・「受診拒否された」「話を聞いてもらえない。」「馬鹿にされた。」
- バリアフリー (9.3%)・・・「待合室にバギーを入れる雰囲気ではなく、ずっと抱いていた。」
「ほとんど目が見えないので病院で迷子になった。」
- かかりつけ医(6.2%)・・・「かかりつけ医になってもらえない。」 他

(2) ということに困られましたか



(3) 医療機関での対応や設備などで良かったこと嬉しかったことはありますか

70.1%

(4) ということが良かったこと嬉しかったことですか

- 子供が納得するまで丁寧に子供に対して説明してくれた。
- 障がいのある人の診察枠があり、待つ間、余計な緊張などしなくていい。
- 通院が困難なときに往診をして下さった。「休診日でも困ったときは電話してもいいよ。」と言って下さったこと。 他

(5) 診療所に望む医療とはどのようなものですか

- 地域で暮らす当事者が困ったときに、いつでもかかれる医療。住み慣れた地域の自宅での暮らしをサポートできる医療
- 安心してすべての医療を受けられる場所。
- 子供から大人まで障がいのある方が安心して受診できる診療所
- 医療全般について緊急性を判断していただいて必要があれば身近な専門病院を紹介いただける病院
- 学校との連携。医療的ケア児へのサポート 他

(6) 診療所に必要な診療科

内科(13.1%) 整形(11.1%) 歯科(10.1%) 眼科(9.1%) 精神科・神経科(7.6%)
耳鼻科(7.1%) 小児科(6.6%) 皮膚科(4%) 心療内科(3.5%) 総合内科(3%)
外科(3%) リハビリ(3%) 他

長岡京市福祉政策室との懇談

日時 2023年10月5日 10時30分～12時

参加者 長岡京市 健康福祉部次長兼福祉政策室室長名和氏、主幹樋口氏、室長補佐石田氏、会員 6名

1) 共生型福祉施設整備の概要について

最初に、室長からレジユメに基づいて主な施設の概要、実施事業の概要を説明。

主な施設等概要

向陵会 ①全世代交流スペース②地域生活支援拠点〈相談支援(24時間対応)、緊急時受入、対応(短期入所)他〉③共同生活援助〈重度心身障がいや強度行動障がいの方も利用が可能〉・短期入所支援・計画相談支援

朔日の会 ④児童発達支援センター⑤診療所機能

実施事業

	令和8年4月供用開始	令和8年12月または令和9年4月供用開始
向陵会	①全世代交流スペース ②共同生活援助(日中サービス支援型) 定員 20 名 ③短期入所 定員 3名 ④相談支援事業所	⑤生活介護 定員 20 名 ⑥就労継続支援B型 定員 20 名 ⑦福祉避難所機能
朔日の会	⑧児童発達支援センター 定員 20 名(午前、午後各10名) ⑨放課後等デイサービス 定員10名 ⑩保育所等訪問支援 ⑪相談支援事業所、 ⑫診療所機能 (法人・京都府・市で調整)	

質疑応答では「短期入所3名は成人と児童も含めて少なすぎる。」「緊急時の受け入れはどうなるのか」「グループホームに重心、強度行動障害の人も受け入れるためには、受け入れ可能な建物の構造が必要になる。本当に受け入れ可能なのか。」「学校教育と福祉の連携はどういう話が進んでいるのか?」「児童発達支援センターについては、ステップのサテライトではないのか。」など、いろいろな意見がでました。

手作りリース教室を開催します！！

わくわくする
素敵な
リースです

日時: 令和5年11月16日(木)午前10時30分～

場所: 乙訓ひまわり園支援センター2階 地域交流室

作品は12月2日 長岡京市障がい者児の人権を考える市民のひろばで作品展示します。

楽しくおしゃべりしながら素敵なリースを一緒に作りましょう！！

★別紙案内添付 参加申し込み期日 令和5年11月6日(月)